

一般住民から委員会への意見聴取に関する意見

第8回委員会にて、今後、住民意見の反映方法について議論していくにあたり、ニュースレター、ホームページ等の広報手段を通じて、一般住民から意見を募っていくことが了承されました。

その手法も含めて、ヒアリング時に一般住民からの意見聴取に関して、意見をいただいております。主な意見は、以下のとおりです。

ヒアリング時の主な意見

メール、アンケート等の会議以外の文章による聴取方法を利用すれば、意見を言いやすいと思う。

委員会（または、ワークショップなど）が地域に出て行き、住民の意見を聞く。住民との対話集会。

流域の各市町の河川に詳しい人を抽出し、話を聞く機会をつくる。アンケート等の質問内容は、注意が必要であり、分科会等で設定する必要があるかもしれない。

ある程度の成果がまとまったところで、シンポジウム等を開催する。

流域の小学生、中学生を対象として、円山川についての作文、絵などを募集する。川に対する関心を高めることにもなるし、住民がどのように円山川を捉えているのかがわかり、整備の方法の一例が示されるかもしれない。